

ALL IS ONE



医療法人社団友志会

リハビリテーション 翼の舎病院

介護老人保健施設 空の舎

通所リハビリテーション ヒバリゆかい

私たちのキーワード 「ALL is One」

当施設は令和 2 年 1 2 月に開設した回復期リハビリテーション病院と介護老人保健施設が同一建物内に併設されている、医療・介護の複合施設です。脳卒中や大腿骨骨折等の急性期を過ぎた患者さんはリハビリテーション翼の舎病院（当施設 3F）へ転院され、1 日あたり 2 ～ 3 時間のリハビリテーションを受けることになります。入院期間を経て、自宅退院となった患者さんには通所リハビリテーションヒバリゆかい（当施設 1 階）に通っていただき、引き続きリハビリテーションを受けていただくことにより、日常生活を送るための身体機能の維持向上を目指すことができます。また、翼の舎病院の退院時期を迎えても自宅に帰ることが困難な患者さんは、介護老人保健施設空の舎（当施設 2 階）へ入所していただき、引き続きリハビリテーションを受けながら在宅復帰を目指します。

このように、当施設は皆さんが住み慣れた地域で生活を継続できるよう「All is One」で全力でサポートいたします。

当施設利用の流れ（イメージ）



3F 【医療】 リハビリテーション翼の舎病院

2F 【介護】 介護老人保健施設 空の舎

1F 【介護】 通所リハビリテーションヒバリゆかい



(維持期)



通所リハビリテーション ヒバリゆかい (1F)
自宅から通いながらのリハビリテーション



リハビリテーション翼の舎病院 病院長

長岡 正範

当院は、医療法人社団友志会が運営するリハビリテーション病院として花の舎病院に次いで2番目に開院したリハビリテーションに特化した専門病院です。新しい建物、医療機器、スタッフの配置など、これまでの経験を生かし、当院は2020年12月に完成しました。

全体の専門職が一つになって協同して力を発揮する「All is One」が当院のモットーです。病院を退院後に利用する介護老人保健施設「空の舎」や通所リハビリテーション「ヒバリゆかい」というサービスも同じ建物に用意されていることも All is One であるゆえんです。私たちは、新しい病院です。患者さんのリハビリテーションのために従来の治療法に加えて、新たな知見や技術を導入して一層の治療効果を上げられるよう全員、力を合わせて日々努力しています。小山の地に開設された翼の舎病院は、「この地に住んで、関わり合いを持ったときから、いつまでも共に生きる」という友志会の創立理念に則り、この地の人々のために優れたリハビリテーションサービスを提供し、延いては世界のリハビリテーションのために貢献することをめざします。



介護老人保健施設 空の舎 施設長

眞島 香代子

空の舎はリハビリテーション
翼の舎病院に併設した介護老人
保健施設として、医療と介護を
提供しながら、在宅復帰を目指
して維持期リハビリテーション
を行います。

ご利用者・ご家族の皆様が、よ
り自分らしい日常生活を送れる
ように支援していきます。どう
ぞ宜しくお願い申し上げます。

CONTENTS

施設概要 _____ 02

病院長 施設長
あいさつ _____ 04

リハビリテーション
翼の舎病院 _____ 06

介護老人保健施設
空の舎 _____ 10

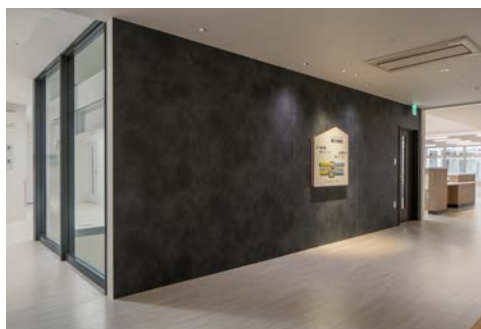
通所リハビリテーション
ヒバリゆかい _____ 12

施設の利用について _____ 14

アクセス _____ 15

施設キャラクター
ミソラちゃん





3F 【医療】

リハビリテーション ^{つばさ}翼の ^{いえ}舎病院

病院概要

病床数 100床（北病床56床、南病床44床）
全床回復期リハビリテーション病棟
診療科 リハビリテーション科
病院長 長岡 正範

リハビリテーション病院とは

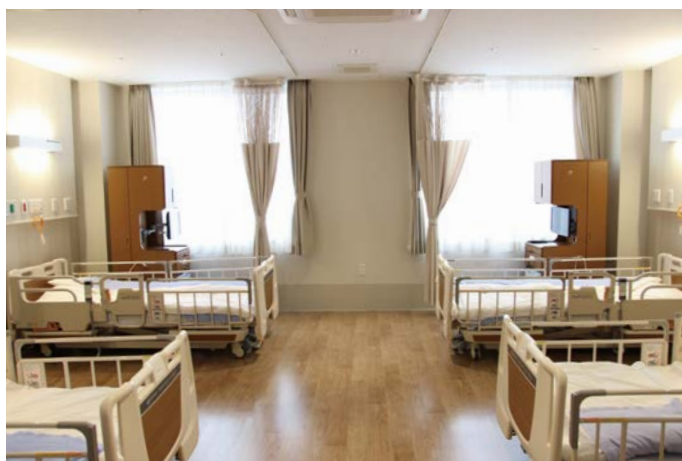
急性期病院で「脳血管疾患」や「大腿骨骨折」等の治療を終えた患者さんに対して、365日途切れなくマンツーマンでのリハビリテーションを早期から提供します。寝たきりの予防に務めながら積極的に家庭復帰・社会復帰を目指す病院です。多職種が協働し、患者さんの個々の状態に合わせ安心してご自宅へ帰れるように総合的に支援をおこないます。

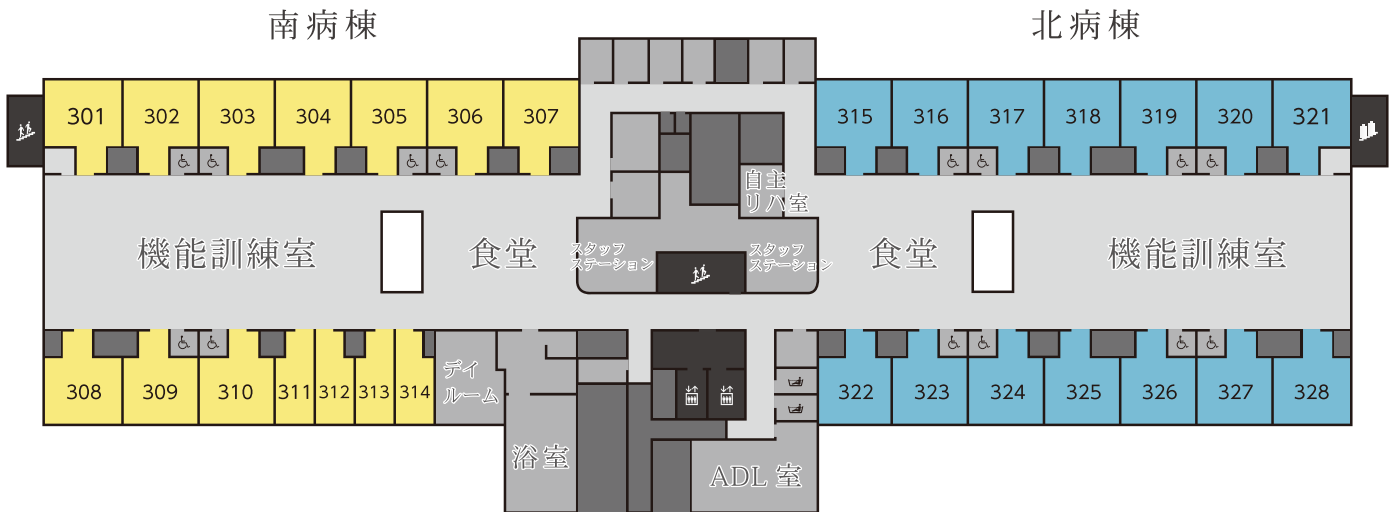
<対象疾患>	<入院上限日数>
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経損傷等の発症又は手術後、義肢装着訓練を要するの状態	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸椎損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	180日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後、又は手術後の状態	90日
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後の状態	90日
大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	60日
股関節又は膝関節の置換術後の状態	90日

病室のご案内

設備（4床室）

洗面台、ロッカー
鍵付き収納家具、
冷蔵庫、テレビ





病室から一步でるとすべてがリハビリスペース

建物は南北に102mの長さがあり、機能訓練室と食堂を合わせると1,000㎡以上の広さを誇ります。このスペースを病室が囲んでおり、病室を一步出るとすぐにリハビリをおこなうことができます。



先進機器を導入したリハビリテーション

当院ではリハビリテーションに効果的な治療法を積極的に取り入れています



上肢用ロボット型運動訓練装置 ReoGo-J (レオゴー)

コンピューター技術とロボット工学を応用した上肢用ロボット型運動訓練装置です。脳血管疾患で上肢麻痺になった患者さんの動きを改善を目指します。



SECA mBCA525 医療用体組成計

体脂肪量、除脂肪量、体水分量、骨格筋量などの医学に重要な体の区分に分けて測定することができ、リハビリテーションに活かしています。



WILMO

患者さん自身の微弱な筋収縮をひろい、電気刺激を与え、筋萎縮改善を促すことで、効果的な上肢リハビリテーションをおこないます。



メデイカルフィットネス

通常の機能訓練に加え、全身の筋力を集中的に高める機器も取り入れています。

ADL 室

より日常生活に近い環境で生活動作の練習がおこなえるようにするため、実際の家屋を模した ADL 室を設置しています。慣れ親しんだ和室での寝起きや料理、掃除といった日常生活やゴルフ、テニスといった趣味活動の練習をします。復職を目指すための課題を評価するワークサンプル幕張版もあります。



自主りハ室

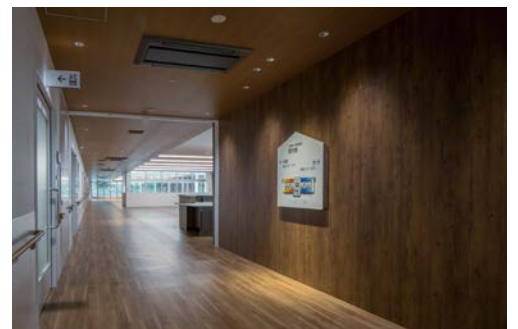
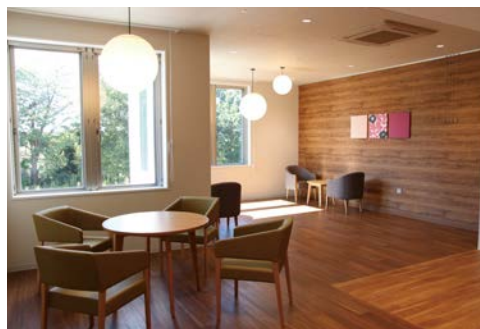
パソコン・ペグボード等、上肢に特化した作業練習を取り組める部屋です。また運転技能の評価や練習をおこなうドライブシミュレーターもあります。空間認知、注意力など日常生活に支障があるか確認し、運転能力・適正の目安に役立てています。



多職種連携によるチーム医療

私たちの医療は多職種による情報共有によって実現されます。患者さんに関わる全てのスタッフが、きめ細かい情報をもとにリハビリテーション計画書を作成し、定期的、状態変化に応じて見直しながら、早期の機能回復、能力向上を目指しています。





2F【介護】

介 護 老 人 保 健 施 設 ^そら ^いえ 空 の 舎

介護老人保健施設空の舎とは

医師による 医学的管理の下、 在宅復帰を目指す

急性期病院や回復期リハビリテーション病院を退院された方、在宅での介護が困難になられた方が入所し、住み慣れたご自宅で生活が送れるよう、専門職によるリハビリテーションを提供します。セラピストがマンツーマンにおこなう「個別リハ」はもちろん、在宅復帰後を想定した日常生活の動作を訓練する「生活リハビリ」を提供しています。ショートステイも併設しています。

施設概要	
施設長	眞島 香代子
入所定員	80床（月ユニット40床、太陽ユニット40床）
ご利用いただける方	長期入所：要介護1～5 ショートステイ：要支援1～2 要介護1～5

居室



室内は温かみのある木目調でまとめています。多床室ながら建具で仕切ることでプライベートを確保しています。

浴室



一般浴以外にも、座ったままや寝たままでも入浴できる機器を備えております。

リハビリテーション



入所後3ヶ月は週6回、1回20分のリハビリテーションを、4ヶ月以降は週平均3回（合計1時間）リハビリテーションをおこなってまいります。

退所後もフォロー



ご自宅に帰られた後も施設1階の通所リハビリテーションヒバリゆかいで、リハビリテーションをお受けいただくことができます。



1 F 【介 護】

通所リハビリテーションヒバリゆかい

施設概要

利用定員	100名
ご利用できる方	要支援1～2、要介護1～5の方
送迎可能エリア	小山市、下野市、結城市（いずれも一部を除く）

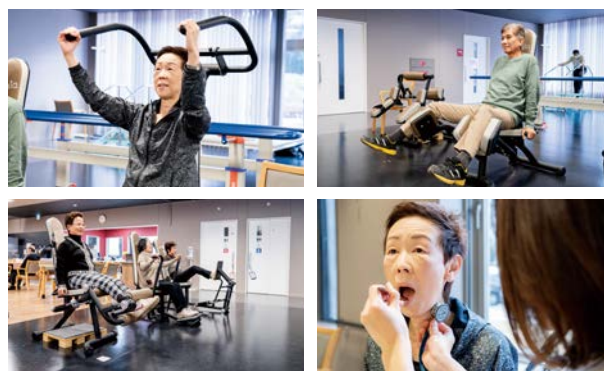
いつまでも住み慣れた我が家で暮らすために

リハビリテーション病院退院後、または在宅生活に不安を感じられている方が、通いながらリハビリテーションを受けることができる施設です。やりたいこと・続けていきたいことを一緒に見つけ、おひとりおひとりの目標に沿ったリハビリテーションプログラムをご提案いたします。



充実したリハビリ環境

当施設の通いいただく最大目的はリハビリテーションです。目標達成のために「セラピストとのリハビリ + 自主練習の指導 + 介護士とのリハビリ」を実施します。また、平日は毎日言語聴覚士による言葉や食事のリハビリができます。



リハビリを支える食事

ハードなリハビリを支えるために、管理栄養士による栄養バランスのとれた食事を提供しております。2種類のメニューからお好きなものをお選びいただけます。また、毎朝焼き立てパンとコーヒーの香りで皆さまをお迎えします。パンは発酵から焼き上げまで施設内でおこなっております。月に一度全国の銘菓を取り寄せる「お楽しみおやつ」もあります。



※嚥下障害のある方にはパンではなく、ゼリーの提供になる場合があります。

各施設のお問い合わせについては下記までご連絡ください。

リハビリテーション翼の舎病院

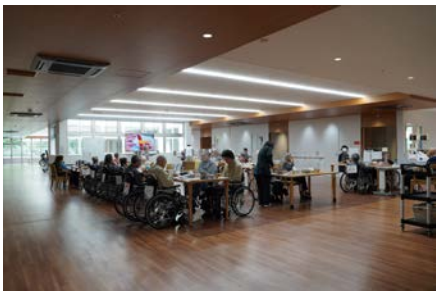


対象疾患	脳血管疾患、大腿骨骨折等
------	--------------

転院相談、各医療機関からの紹介についてはリハビリテーション翼の舎病院 地域医療連携室までご連絡ください。

TEL 0285-37-6314

介護老人保健施設 空の舎



利用 できる方	長期入所：要介護1～5 ショートステイ：要支援1～2、要介護1～5
------------	--------------------------------------

入所相談、利用者さんの紹介については介護老人保健施設空の舎相談員までご連絡ください。

TEL 0285-37-6315

通所リハビリテーションヒバリゆかい



利用できる方	要支援1～2、要介護1～5
--------	---------------

ご利用を検討されている方は介護老人保健施設空の舎相談員までご連絡ください。

TEL 0285-37-6315

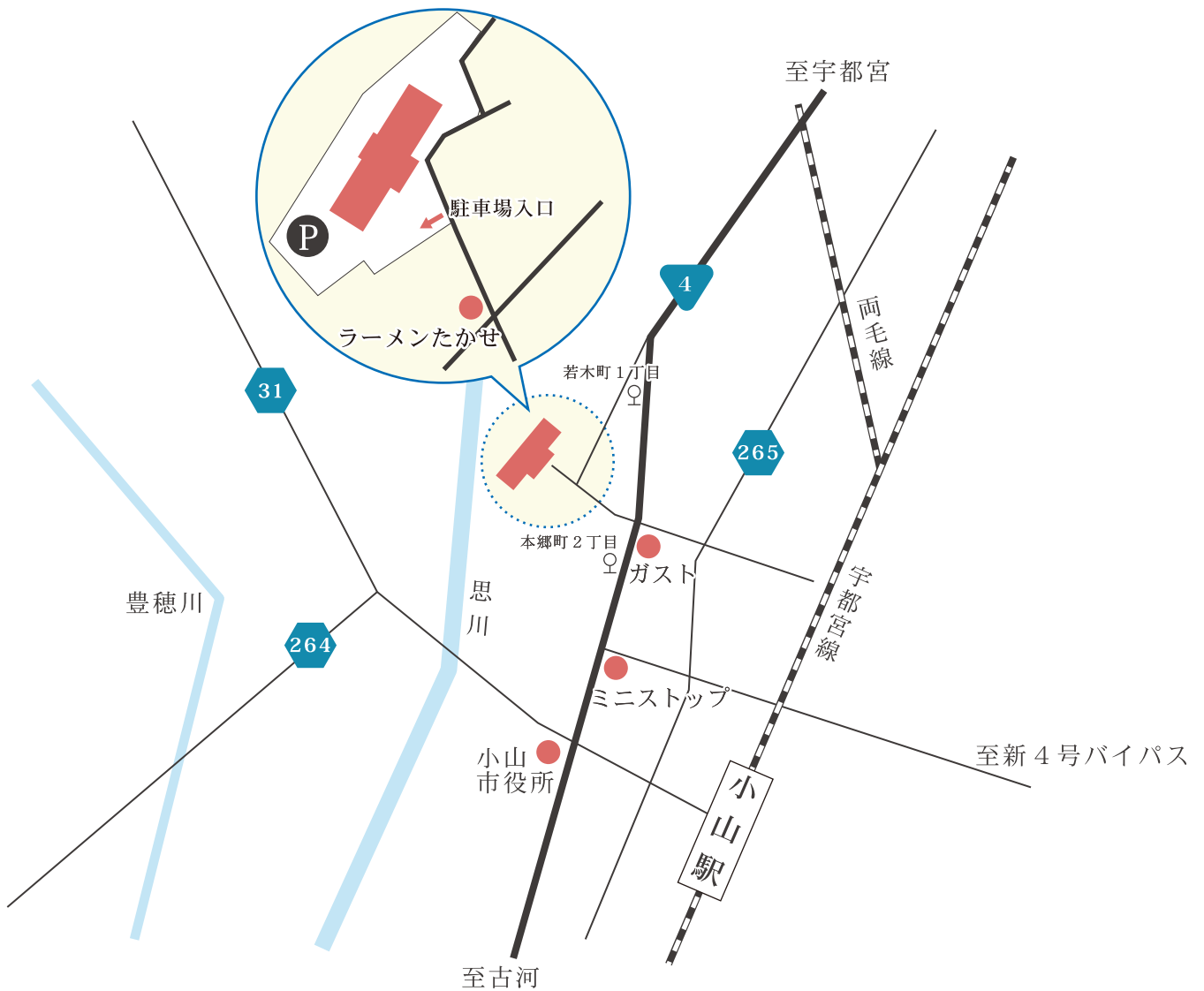
居宅介護支援事業所 春風



ご利用者さんやご家族に合ったケアプランを作成し、事業者との連絡調整・紹介、介護認定申請のお手伝い、施設や病院に関するご相談などをおこないます。

在宅介護や介護保険サービスのご相談はこちらまで

TEL 0285-37-6317



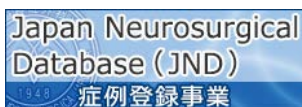
鉄道でお越しの方

JR 宇都宮線 小山駅より 徒歩 20 分 タクシー 5 分

バスでお越しの方

おーバス ハーヴェストウォーク線
「本郷町 2 丁目」または「若木町 1 丁目」下車 徒歩 5 分

医療データの提供



当院は、「日本脳神経外科学会データベース研究事業 (Japan Neurosurgical Database: JND)」に協力しています。2020 年 12 月から当院で治療を受けられた患者さんの臨床データを解析させていただき、脳神経外科医療の質の評価に役立てることを目的としています。

解析にあたって提供するデータは、提供前に個人を特定できない形に加工した上で提供しますので、患者さんの個人のプライバシーは完全に保護されます。本研究の解析に自分のデータを使用されることを拒否される方は、ご不明点については当院スタッフまでお声がけください。



ALL IS ONE

医療法人社団友志会

リハビリテーション翼の舎病院 tel.0285-37-6107 fax.0285-37-6030

介護老人保健施設空の舎 tel.0285-37-6207 fax.0285-37-6030

通所リハビリテーションヒバリゆかい tel.0285-37-6213 fax.0285-37-6215

[住所]

〒323-0028 栃木県小山市若木町1-1-2